

ほうじん さかりこ



発行所
酒田市中町二丁目4番1号
社団法人 酒田法人会
TEL 26-4772
FAX 26-4788

平成17年5月24日(火)

盛会裡に終了

第24回 社団法人 酒田法人会通常総会



講師の岩佐豊氏



挨拶する前田会長



祝辞を述べる秋場税務署長



研修会事業推進者表彰の方々

第二十四回通常総会が五月二十四日、ベルナール酒田において秋場酒田税務署長、高橋東北税理士酒田支部長ほか多数の来賓にご臨席いただき、会員九七七名(うち委任状提出八四一名)が出席し、盛大に開催されました。

総会は前田会長の挨拶につづいて、永年勤続功労員表彰一名、会員増強功労者表彰五名、研修会等事業推進者表彰四名の方々に表彰状と記念品が、会員増強期間に目標を達成した二地区、三支部に記念品が贈られました。

定款により前田会長が議長となり議事に入り、平成十六年度事業報告並びに収支決算報告は報告のとおり、平成十七年度事業計画(案)並びに収支予算(案)は原案のとおり承認可決されました。次に任期満了に伴う役員の改選は、別表のとおり選任され、新理事・監事会に於いて会長に前田直己氏、副会長に弦巻伸氏、大滝健二氏、滝井宗一氏が選任され、総会で承認可決されました。

議事に次いで退任された理事、長坂惣一郎氏、齋藤成徳氏、井上厚氏、監事、伊藤宗一氏に永年の会活動の功績に対して感謝状と記念品が贈られました。

引きつづき来賓を代表して秋場酒田税務署長よりご挨拶をいただき総会は終了しました。

総会終了後、株式会社ダイヤモンド社元社長、岩佐豊氏より「転換期を迎える日本経済と勝ち残る企業の経営者の条件」の演題で記念講演が開催されました。

『転換期を迎える日本経済と 勝ち残る企業の経営者の条件』

株式会社ダイヤモンド社 元社長

講師 岩佐 豊氏

第二十四回通常総会記念講演は岩佐豊氏を迎え午後三時三十分より「転換期を迎える日本経済と勝ち残る企業の経営者の条件」の演題で始まった。

先生は日本の経済について、経済成長率と平均株価の上昇率の二本の棒グラフをセットし、どちらが高いか何十年か比べて見ると一九七〇年～一九八九年迄は株価の上昇率が成長率より高く好景気が続いた、二〇〇〇年から又株価の上昇率が高くなっており二〇一五年頃迄もう一度景気の上昇があると見ている。(現在上昇している)

次に人口構造の棒グラフを見てみると日本の人口構造(人口ピラミッド)は二つの「出っ張り」があり「出っ張り」は経済の温度を上昇させるエンジンである。一回目のエンジンは「団塊の世代」と呼ばれる人達、二回目はその子供達の「団塊ジュニア」である。国の「経済の温度は個人消費が決め

る、一回目は二十才～四十才がエンジンとなる年齢で目いっぱい稼ぎ目いっぱい使った時代であり借金もし、住宅投資も行った。二〇〇〇年から第二のエンジンが稼いで消費する二十五才に差し掛かっている、又第一のエンジンは所得の伸びが良く経済成長率並だったが第二では物価上昇率程度であり所得の伸びは鈍化している。

以前は八割を占めていた中流が減り、上流、下の層の人が増え二極分化が進むであろう。

一方企業は第一と第二の時代では主役が逆転する。これは経営と経済の前提条件が変わっている為で二回目の主役は新しい前提条件に対応する事に成功した会社である。

ここで経営者はここ何年か思ったより売上や利益が伸びないのを不況のせいにしていないだろうか、伸びないのは新しい前提条件に対応していないから

であり一番大きいのは所得層の中流が減っている時代に入っただからであり、皆が良くなるという前提で景気が良くなるのを待っていてももうきません。二極分化が進むと経営者は哲学の違う両方の層のお客は狙えなくなり、減って行くマーケットで勝ち残る為には、よそと違うやり方がないと勝ち残る事はできません。こんな時代だから勝つのは三割の企業であり勝企業になる為経営者は一投資(特に人と違う投資) 二率の経営(営業利益の上がる経営) 三販売力(売る力が唯一利益をもたらず) 四価格は下がる五人件費は下に引く張られる(損益分岐点をどうやって下げて行くか) これらの条件を克服しなければならぬ。狭いマーケットに少ない人、資源を投入

しマーケットを絞り市内で一番地域で一番と限られた範囲内に集中投資しつつ自社しか出来ないブランドを造って行く事である。中流が増えて額で評価されれば何とかとなった時代は二度と戻っては来ない。夢よもう一度はない。三割の少数派が勝つ時代はやつたかやらなかつたかが結果にでる時代である。先生は二〇〇〇年からフォロワーの風が吹いており二〇一五年迄続くと見ており経営者がどういふスタンスを持つかによって全く別の物が見えて来る、トライすれば大きな成果が期待出来るかも知れないと結んだ。



【永年勤続功勞役員表彰】

平 野 宣 有限会社平野新聞舗



受彰者の方々
おめでとうございます
退任理事・監事の方々
ありがとうございました

(敬称略)



【会員増強功勞者表彰】

船 木 博 成	三協建設工業株式会社
阿 曾 信 幸	酒井鈴木工業株式会社
滝 井 宗 一	滝井生コンクリート株式会社
小 林 元 雄	荘内振興株式会社
佐 藤 悌 夫	株式会社日東軽金

【会員増強目標達成地区表彰】

北部地区・東部地区・八幡支部
松山支部・平田支部



【研修会等事業推進者表彰】

鈴 木 稔	株式会社セフティ両羽
大 井 勝 喜	有限会社大井工務店
奥 山 秀	株式会社丸高
斎 藤 市 子	庄内中央骨材協同組合

【退任理事・監事への感謝状贈呈】

長 坂 惣一郎	菊 勇 株式会社
齋 藤 成 徳	株式会社齋藤農機製作所
井 上 厚	株式会社新和設備
伊 藤 宗 一	株式会社山形日情システムズ



平成17年度 社団法人酒田法人会総合収支予算

自 平成17年 4 月 1 日
至 平成18年 3 月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
1. 会 費 収 入	12,500,000	12,800,000	△ 300,000	
2. 事 業 収 入	900,000	1,010,000	△ 110,000	講習会等収入
3. 補 助 金 収 入	4,020,000	4,050,000	△ 30,000	全法連・県連補助金
(1) 全法連補助金収入	3,520,000	3,550,000	△ 30,000	全法連より補助金
(2) 県連補助金収入	500,000	500,000	0	県連より補助金
4. 推 進 費 収 入	4,039,000	4,160,000	△ 121,000	全法連推進費収入
5. 周年事業積立金取崩収入	0	500,000	△ 500,000	
6. 雑 収 入	110,000	110,000	0	利子収入等
当期収入合計 (A)	21,569,000	22,630,000	△ 1,061,000	
前期繰越収支差額	1,259,999	983,710	276,289	
収 入 合 計 (B)	22,828,999	23,613,710	△ 784,711	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
1. 事 業 費	13,570,000	14,260,000	△ 690,000	
(1) 講 習 会 費	1,650,000	1,700,000	△ 50,000	講師謝金・会場費等
(2) 広 報 費	2,000,000	2,000,000	0	会報・機関誌・広告
(3) 会 議 費	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	総会・理事会・委員会等経費
(4) 支 部 費	1,200,000	1,200,000	0	支部運営費
(5) 会 員 関 係 費	500,000	550,000	△ 50,000	会員サービス料
(6) 組 織 強 化 費	1,100,000	1,100,000	0	組織委員会・地区委員会等経費
(7) 事 業 推 進 費	4,600,000	4,600,000	0	事業運営費・関係団体負担金等
(8) 部 会 活 動 費	1,010,000	1,500,000	△ 490,000	青年部会・女性部会・三水会
(9) 厚 生 制 度 推 進 費	110,000	110,000	0	福利厚生制度連絡会議
(10) 社 会 貢 献 活 動 費	300,000	300,000	0	
2. 人 件 費	4,410,000	4,500,000	△ 90,000	
(1) 給 与 費	3,330,000	3,460,000	△ 130,000	給料・手当
(2) 福 利 厚 生 費	1,080,000	1,040,000	40,000	法定社会保険
3. 管 理 費	3,950,000	3,950,000	0	
(1) 消 耗 品 費	120,000	120,000	0	事務用消耗品・什器備品
(2) 印 刷 費	130,000	150,000	△ 20,000	コピー代・各種用紙印刷
(3) 通 信 費	490,000	490,000	0	電話料・FAX料等
(4) 旅 費	460,000	460,000	0	出張旅費
(5) 事 務 所 費	2,400,000	2,400,000	0	事務所借上料・電気料・警備保障等
(6) 租 税 公 課	100,000	80,000	20,000	法人税等
(7) 雑 費	250,000	250,000	0	
4. 特 定 預 金 支 出	750,000	750,000	0	
(1) 特 別 積 立 掛 金 支 出	750,000	750,000	0	退職給与引当金・周年事業積立金
5. 予 備 費	148,999	153,710	△ 4,711	
当期支出合計 (C)	22,828,999	23,613,710	△ 784,711	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 1,259,999	△ 983,710	△ 276,289	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0	0	

平成16年度 社団法人酒田法人会総合収支計算書

自 平成16年 4 月 1 日
至 平成17年 3 月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1. 会 費 収 入	12,800,000	12,690,500	109,500	
2. 事 業 収 入	1,010,000	952,360	57,640	講習会等収入
3. 補 助 金 収 入	4,050,000	4,051,400	△ 1,400	全法連・県連補助
(1) 全法連補助金収入	3,550,000	3,549,000	1,000	
(2) 県連補助金収入	500,000	502,400	△ 2,400	
4. 推 進 費 収 入	4,160,000	4,165,100	△ 5,100	全法連推進費収入
5. 周年事業積立金取崩収入	500,000	500,000	0	
6. 退職給与引当金取崩収入	0	640,000	△ 640,000	
7. 雑 収 入	110,000	131,752	△ 21,752	利子収入等
当期収入合計 (A)	22,630,000	23,131,112	△ 501,112	
前期繰越収支差額	983,710	983,710	0	
収 入 合 計 (B)	23,613,710	24,114,822	△ 501,112	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1. 事 業 費	14,260,000	13,348,853	911,147	
(1) 講 習 会 費	1,700,000	1,337,237	362,763	講師謝金・会場費等
(2) 広 報 費	2,000,000	1,928,925	71,075	会報・機関誌・広告
(3) 会 議 費	1,200,000	954,546	245,454	総会・理事会・委員会等経費
(4) 支 部 費	1,200,000	1,291,631	△ 91,631	支部運営費
(5) 会 員 関 係 費	550,000	449,353	100,647	会員サービス料
(6) 組 織 強 化 費	1,100,000	966,838	133,162	組織委員会・地区委員会等経費
(7) 事 業 推 進 費	4,600,000	4,521,407	78,593	事業運営費・関係団体負担金等
(8) 部 会 活 動 費	1,500,000	1,488,916	11,084	青年部会・女性部会・三水会
(9) 厚 生 制 度 推 進 費	110,000	110,000	0	福利厚生制度連絡会議
(10) 社 会 貢 献 活 動 費	300,000	300,000	0	
2. 人 件 費	4,500,000	5,079,230	△ 579,230	
(1) 給 与 費	3,460,000	3,460,000	0	給料・手当
(2) 退 職 金	0	640,000	△ 640,000	
(3) 福 利 厚 生 費	1,040,000	979,230	60,770	法定社会保険
3. 管 理 費	3,950,000	3,676,740	273,260	
(1) 消 耗 品 費	120,000	119,695	305	事務用消耗品・什器備品
(2) 印 刷 費	150,000	78,253	71,747	コピー代・各種用紙印刷
(3) 通 信 費	490,000	487,950	2,050	電話料・FAX料等
(4) 旅 費	460,000	368,420	91,580	出張旅費
(5) 事 務 所 費	2,400,000	2,342,119	57,881	事務所借上料・電気料・警備保障等
(6) 租 税 公 課	80,000	80,400	△ 400	法人税等
(7) 雑 費	250,000	199,903	50,097	
4. 特 定 預 金 支 出	750,000	750,000	0	
(1) 特 別 積 立 掛 金 支 出	750,000	750,000	0	周年事業積立金・退職給与引当金
5. 予 備 費	153,710	0	153,710	
当期支出合計 (C)	23,613,710	22,854,823	758,887	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 983,710	276,289	△ 1,259,999	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	1,259,999	△ 1,259,999	

新役員決まる

谷	児	畠	高	後	小	和	佐	平	佐	大	佐	新	上	滝	大	弦	前
義	玉	中	徳	藤	林	島	藤	野	藤	井	藤	田	林	井	滝	卷	田
雄	健	昭	宗	毅	元	公	茂	宣	夫	誠	淳	嘉	直	宗	健	伸	直
酒	(株)	日	東	莊	莊	せ	酒	(有)	(株)	大	東	(株)	(株)	滝	(有)	(株)	前
田	エ	之	北	内	内	ん	田	平	日	井	北	上	井	生	木	田	
信	工	出	東	証	振	じ	米	野	東	建	銘	林	生	コ	村	製	
用	コ	石	北	券	興	ん	菓	新	軽	設	醸	鉄	ン	ン	屋	管	
金	コ	油	一	(株)	(株)	商	(株)	聞	金	(株)	場	工	ク	クリ	巻	(株)	
庫	ト	(株)	化	(株)	(株)	事	(株)	舗				所	リ	ト			

監	事	小	池	井	大	佐	池	加	西	水	川	加	阿	上	高	那	菅	秋	羽	石	林	鈴	斎	高
野	田	上	場	々	田	賀	田	谷	村	田	俣	藤	部	野	橋	須	原	野	田	井	有	木	藤	橋
寺	剛	義	弥	木	健	勝	一	也	慶	方	堯	聡	孝	重	幸	良	順	明	久	幸	一	良	光	弘
志	求	裕	市	雅	一	也	晴	也	治	一	堯	聡	志	征	雄	太	一	明	夫	幸	郎	博	也	道
(有)	(株)	(株)	大	菊	(株)	(株)	菊	(株)	西	酒	(株)	加	阿	(株)	(株)	(株)	(有)	酒	羽	(株)	林	(株)	松	酒
ピ	千	新	場	勇	ふ	メ	と	ッ	村	田	藤	加	部	ユ	丸	共	プ	田	石	建	み	山	山	田
オ	代	和	建	の	と	ッ	ん	ク	鉄	天	藤	藤	建	ー	栄	ラ	海	井	設	な	車	車	火	共
サ	設	設	設	の	ん	ク	の	カ	工	然	農	業	設	テ	建	ン	陸	製	と	と	輛	輛	力	同
ポ	備	備	(株)	池	の	カ	池	ガ	(株)	瓦	機	(株)	ク	ッ	材	グ	運	作	と	と	(有)	(有)	発	火
ー	田	備	(株)	田	池	ガ	田	ヤ	(株)	斯	作	(株)	ク	ク	高	送	所	所	と	と	(有)	(有)	電	力



新任役員紹介

第12回 青年部会 通常総会



挨拶をする梅田会長

第十二回青年部会通常総会は、六月十三日、ホテルリッツ酒田で、秋場酒田税務署長、伊藤法人課税第一部門統括国税調査官、親会より前田会長の三名を来賓としてお迎えし開催されました。総会は、梅田部会長、親会の前田会長の挨拶に続き議事の審

議に入り、第一号議案、平成十六年事業報告並びに収支決算報告は報告のとおり、第二号議案、平成十七年事業計画(案)、収支予算(案)は原案のとおり承認可決、第三号議案、役員補充については、高橋政道氏が新役員と社会貢献の副委員長に選出されました。

引き続き来賓を代表して、秋場酒田税務署長より、ご挨拶を頂き、山形県内青年部会連絡協議会の参加の依頼の後、総会は終了しました。

総会終了後、アトラクションとして伝統芸能庄内出羽人形の指人形芝居、その後、卒業式、



卒業生を囲んで

女性部会第十一回通常総会は六月三日、ホテルサンルート酒田で、秋場酒田税務署長、伊藤法人課税第一部門統括国税調査官、親会より前田会長にご臨席いただき開催されました。

熊谷部会長代行、前田会長の挨拶に続いて、議事に入り平成十六年度事業報告並びに収支決算報告は報告のとおり、平成十七年度事業計画(案)、並びに収支予算(案)は原案のとおり承認可決されました。任期満了に伴う役員改選では、部会長に

第11回 女性部会 通常総会

新入会員の紹介を兼ねた懇親会が開催され、盛会裡に総会を終了しました。



挨拶をする熊谷部会長

熊谷孝子氏、副会長に大泉公子氏、羽田亮子氏、他新役員が選任され、承認されました。引き続き来賓の秋場酒田税務署長よりご挨拶を頂き総会を終了しました。

記念講演は、アイベックスエアラインズ株式会社、社長森崎利直様より「現代の北前船発進」を演題に、現代の北前船を、空路庄内、伊丹路線に架ける、ロマンあふれる講演を頂きました。



講演中の森崎社長



総会にて